

国際交流サロン

10月の「世界の家族のごはん」はオーストラリアとトルコです。
さあ、世界のことを知って交流を始めましょう。

国名と都市	オーストラリア リバービュー	トルコ イスタンブール
家族構成	両親、祖母、子ども(男3)	両親、祖母、子ども10代 (男2女1) 幼児(女1)
一週間の食費	約3万円(約375オーストラリア・ドル)	約1万2千円(198新トルコリラ)
好きな食べ物と特徴	牛肉、生カリフラワーのサラダ、ヨーグルト、(オーストラリアの桃のような果物・クワンドンのパイ)	羊肉のひき肉をつめたダンプリング、ケバブ、オリーブの実の塩漬け、(ブドウの葉で米や肉を包んだ料理のサルマ)

*乳児(2歳未満)、幼児(6歳未満)、子ども(13歳未満)、子ども10代、子ども20代で表記



◀スリランカ出身の市在住の研修生

11月の国際交流情報

11月3日(土・祝)

外国人流錫馬交流会

会場：笠間稲荷神社 流錫馬馬場

時間：午前10時～午後1時30分

☆11月の日本語教室の開講日

11月10日(土)・17日(土)

(友部公民館 午前10時～)

外国人流錫馬交流会のお知らせ

笠間市国際交流協会では11月3日(土・祝) 菊まつり・流錫馬観光に訪れた外国人の方に、市内の観光案内と流錫馬についてのガイドを行います。

ホームタウンガイドのボランティアスタッフが、英語・中国語・韓国語の観光パンフレットを用意して会場を巡回していますので、お気軽に声をかけてください。菊まつり、流錫馬と一緒に楽しみましょう。

問合せ：一般社団法人 笠間市国際交流協会 Tel.090-2761-8711 (木村 美枝子)

市長コラム

三千万円

「知事、何とか国の復興交付金を笠間へ活用することができませんか」

震災で受けた被害の復旧、復興に取り組んでいるなか、知事への働きかけから復興交付金の予算確保がスタートしました。まず、3月に笠間地区の復興まちづくり調査費のための3千万円の予算要求を復興庁に

対して行いました。この予算は、笠間地区の市街地整備(支所、商店街、空地、避難所など)を図るための調査費で、市にとっては、復興を進める上で非常に重要な予算であります。この復興庁への1回目の計画書は、不採択となりました。しかし、県知

事をはじめとして、茨城県の土木部など関係部課に応援をいただきながら、6月に2回目の提出にこぎつけました。

それと同時に、地元選出の国会議員や市議長とともに復興庁へ向かい、笠間市の被害状況と復興に対する思いを直接、復興副大臣と財務副大臣へ伝えました。

会談の中で、復興副大臣から宮城県・岩手県への市職員の派遣など、市内外を含めた震災復興の取組みについて感謝の言葉をいただき、笠間市の被害を含め、震災後の状況をご理解いただけたようでした。

その後、事務的な作業を通じ、8月に復興交付金として3千万円の予算が採択となりました。これは、津波と液状化の被災地を除く、内陸部としては県内で初めてのことです。

市議会、県、国会議員の方々には大変お世話になり、本当にありがとうございます。また、市担当職員にもがんばってもらいました。

この調査費を元に、早期に復興計画を作成し、事業の進捗を図ってまいります。

ひとこと・・・感謝。

笠間市長
山口伸樹

▲ 県に対する要望活動(6月5日)

